

人知れず私たちの暮らしを守る

「砂防事業」

白州地域委員 小林あつ子

1 黒川第五砂防堰堤（黒川砂防堰堤群）の工事現場を見学

今年度、白州地域委員会では、地域を知る活動として「砂防堰堤の見学」を行いました。

近年、日本列島のいたるところで大きな自然災害が発生しています。白州地区には甲斐駒ヶ岳などの西の山々から何本もの急流が釜無川に流れ込んでいて、土砂災害を防ぐためにたくさんさんの砂防堰堤がつくられています。山奥にあるものが多くその実際はあまり知られていません。「砂防堰堤の見学」を通して地域防



災に関心をもち理解を深めることを目的として、9月18日に見学・研修を実施しました。

鳥原地内の現場とのことでしたので、鳥原の奥のほうを想像して参加しました。しかし、車は国道20号を北上し、鳥原入り口を通り過ぎ国界橋も渡り大武川地区を左に見ながら「机の信号」の先でやっと左に曲がりました。

釜無川の支流黒川に沿って車は上り、道幅はどんどん狭くなり石はもちろんのこと大小さまざまな岩も落ちていました。途中には入山を規制するゲートもあって、そこからは全員ヘルメットを着用しました。1時間ほど走って、やっと大きなダムと思われる工事現場に到着しました。そこは黒川砂防堰堤群の最も上流で最も規模の大きな黒川第五砂防堰堤の工事現場でした。

富士川砂防事務所職員の皆さんが説明をしたり質問に答えたりしてくださいました。

2 砂防堰堤で

下流の被害を食い止める

黒川流域は、糸魚川―静岡構造線が縦断し、極めてもろい地質となっている荒廃した溪流であるので、上

流には多数の崩壊地があり、ひとたび大雨が降ると多量の土砂が流出するそうです。甲斐駒ヶ岳にも白く糸のようなものが見え、最近その数が増え太く大きくなっていることが気になっていました。それらもみな崩壊地であると思われまます。

多量の土砂が土石流となって流れ下れば、下流にある集落や公共施設や道路などに甚大な被害が発生します。土砂や洪水の被害を防止するために砂防堰堤の整備が行われているのです。

富士川砂防事務所職員さんが「大雨が降ったとき、下流ではちょっと水量が増えたぐらいにしか感じられないことがありませんか。砂防堰堤で食い止めることで下流の被害を発生させないことが大事なのです。」と話してくださいました。

3 困難を極める建設現場

黒川第五砂防堰堤は、(株)早野組の方々が工事をしてくださっています。標高1,333mにあり、国道からでもいぶん時間がかかる現場なので、作業員の方々は朝5時に家を出て、帰りは現場を4時に出ても家につくのは7時という大変な現場です。すでに炭平興産(株)のミキサー車330台分のコンクリートが運び込まれたそうですが、工事の進捗状況はまだやっと半分ぐらいという感じで、あと5年ほどかかるそうです。



4 水害との闘いの歴史を忘れない
帰りに「唐沢堰堤」を道路から見学しました。唐沢堰堤は昭和11年着工、昭和25年完成の、釜無川本川で最初に整備された砂防堰堤だそうです。土石流等で幾度となく被災してきましたが、保存状態がよく昭和初期の砂防計画や施工技术などの歴史を現在に伝えるものとして平成22年に登録有形文化財として登録されたそうです。

昭和34年の水害は、国界橋以外の白州地区にかかる橋という橋を押し流し甚大な被害をもたらしました。あの水害を覚えていた人も年々少なくなってきました。しかし、「人知れず私たちの暮らしを守る」ために様々な努力が続けられていることとあわせて伝えていくことが大切だと思います。

第36回北杜市甲斐駒の里名水まつりの開催について

甲斐駒の里名水まつり実行委員長 小林 永男



お祭りに参加した全員のおかげです。者、実行委員会

令和6年10月27日(日)、北杜市甲斐駒の里名水まつりを開催いたしました。また、衆議院議員選挙と重なり各集落の役員さん、事務局の方も大変でした。

舞台では、保育園のマーチングバンドを先頭に小学校・中学生・北杜市吹奏楽団、竹宇地区神楽などといった、地域の方々が、大いにお祭りを盛り上げてくださいました。舞台では、協賛の企業ブースや地元野菜などの販売と、地元野菜を使用した豚汁も大変好評でした。当日は、たくさんの方が来場してくださり大変盛り上がり、出展品もほぼ完売した様です。これも、出展

下教来石獅子舞・道祖神保存会

代表 大嶋 弘一

当地区では小正月の行事として獅子舞と、夜には道祖神祭りを行っています。

まず、真冬の早朝より実施される獅子舞ですが、集落内の全戸を廻り獅子舞にて悪魔祓いを行うものです。獅子頭を被った保存会員が各家一軒一軒を廻り、太鼓と笛による祭囃子に合わせて舞い踊る民族芸能です。この際、獅子は各家の玄関からは入らず、縁側から入ります。古来より、その家の一番格式の高い入口とされ

ている縁側より入る決まりとなっており、その後、神棚の前まで進み舞を披露します。

下教来石の獅子は地域の全戸を廻る為、舞始めは早朝のまだ暗い時間からの開始となります。家の主人は寒い時期ではありませんが、早朝より縁側の戸を開け放ち獅子が来るのを待っています。小正月の早朝、日の出の間際が1日でも最も冷える時間帯になります。地元では小正月は家族の一年の安全と健康を願う日として

重んじられており、獅子舞は地域の文化や伝統を象徴するものとして大切にされています。各家では悪魔祓いが終わった後に、温めた日本酒などを振舞い、保存会員の労をねぎらってくれます。

夜の部は道祖神祭り、無病息災・

家内安全・交通安全 また五穀豊穣を祈願する伝統の行事です。道祖神祭りでは、御神体を祝い事があつた家に運び、神棚に載せて拜んで一年の無事を感じ謝するものです。



地域をつなぐ太々神楽の伝承

白州地区神楽保存会

竹宇昇神団 団長 古屋 岳仁

南アルプスの名峰、甲斐駒ヶ岳は江戸時代中期1816(文化13)年に開山された信仰の山です。仰ぎ見る甲斐駒ヶ岳は荘厳な美しさで、山体が神となったと考えられます修行の場として険しい環境での信仰の形が、色濃く残されています。

竹宇甲斐駒ヶ岳神社は、駒ヶ岳講信者達で建立した神社です。山は生命と豊穣の源、また祖先の霊が宿る場所として尊ばれて駒ヶ嶽信仰は修験道的な色彩を濃くし駒ヶ嶽信仰登山者が競って登頂参拝するところとなりました。明治初年、駒ヶ岳神社は神道の神社として、山頂に本宮(山宮)、山麓に里宮(前宮)を設け、

祭事を行なうようになりました。

昭和7年、駒ヶ岳神社で神楽を奉納する神楽団「竹宇昇神団」が結成されました。優雅な神舞、迫力ある鬼舞、豪華絢爛な衣装を纏った舞子達が勇壮優美に演じます、代々伝えるべき精神は大切に受け継ぎ、春季例大祭(4月)では伝統の太々神楽が竹宇昇神団により山の神様に奉納しています。地域の人が見て楽しむ「祭」としての側面と、地域の大切な文化の一つとして100年近く継承されています。

山の守り神は農業や水源の保護といった重要な役割を担い、豊かな収穫をもたらす存在でピーヒャラ、ド



ン：小躍りしたくなる太鼓や笛の音が、春の訪れを告げる音として響くと自然の調和と季節の循環を感じ、農業活動への取り掛かり合図にもなっています。

【神楽】が地域の魅力発信媒体として自然環境保全、歴史文化の伝承など観光エコツーリズムに繋がって行くことを期待します。

*甲斐駒ヶ岳神社神楽・YouTubeで配信中。

心をこめて、お弁当づくり

白州町食事サービス
ボランティアの会代表 横森 祐子

白州町も高齢化及び核家族化で、一人暮らしの老人世帯が多くなってきています。私達は、栄養バランスのとれた食事を提供する事を目的に活動しているボランティア団体です。今年度は、お弁当作りを6回実施することができました。

お弁当のメニューは、季節の野菜をふんだんに取り入れ、地元食材を使う事に心掛けたものになっています。

会員は、フットワークの良い若い方から、料理方法の知恵を教えて頂けるベテランの方までと年齢も幅広いので、毎回限られた時間の中でも、楽しく手際よく調理を行っています。彩り良く、盛りつけられたお弁当を見て、調理した私達もやりがいを感じています。そのお弁当の上に、『白須下・絵手紙の会』が作成した素敵な挿し絵入りのメニュー表を載せて完成です。

出来たての手作り弁当は、各地区の民生委員さんに届けていただいています。

これからも、会員相互で意見を出し合いながら、対象者に食欲が湧き喜んでいただけるお弁当となるよう努力してまいります。

希望された80歳以上の1人暮らしの方に、お弁当をお届けしています。

お弁当を受けとった方からは、「とてもおいしい」「お弁当を楽しみにしている」などの声が寄せられています。みんなで集まっていっしょに食べているという地区もあって、担当する民生委員児童委員さんは「コミュニケーションを高めるお手伝いもできていることがうれしい」と言っていました。

対象者だけが届いていない方は、地区の民生委員児童委員さんまでお知らせください。



地域活性化の役割を担う ライブラリー はくしゅう

令和6年度、ライブラリーはくしゅうでは、地域委員会との共催で大勢の子どもたちと、楽しいおはなし会を開催することができました。

お月見おはなし会

9月14日の夜7時から、前半は、図書館ボランティア「このゆびとまれお話の会」の方々と一緒にお月見に関連するおはなしと、ピアノ伴奏付きの影絵を行いました。後半には、夜の図書館巡りのクイズを行いました。暗



「お月見おはなし会」

い図書館の中を体験する事がなかなか無いので、子どもたちもワクワクしながら楽しんでいました。

おはなしひろばクリスマス会

12月21日に開催。図書館ボランティアも一緒にクリスマスのおはなしやパネルシアター、職員によるクリスマスソングのハンドベル演奏など、大いに盛り上がりました。後半

には、本物そっくりなクリスマスケーキの工作。親子で楽しく取り組んでいました。材料を集める事も難しいので、貴重な体験が出来たと喜んでいました。最後にサンタクロースの登場で、子どもたちは嬉しそうにプレゼントを貰っていました。



「おはなしひろばクリスマス会」



「スイーツデコの工作」

これからも本の世界の楽しさを子どもたちや地域の皆様に届けられるよう、地域委員会との共催で楽しいイベントを企画していきたいと思えます。ぜひライブラリーはくしゅうにお越し下さい。

図書館からのお願い

皆様のご自宅に、白州町に関する地域資料や貴重書(本、新聞、冊子、パンフレット等)がありますら、ライブラリーはくしゅうに連絡を下さるようお願い致します。

電話 0551-3515070

北杜市日赤奉仕団白州分団及び 武川分団合同研修会に参加して

日赤奉仕団白州分団 分団長 鈴木 亜希

昨年の元日に起きた能登半島地震により中止になっていた日赤奉仕団白州分団及び武川分団合同研修会が、1月22日に甲斐駒センターせせらぎにて2年ぶりに開催されました。

日赤山梨県支部の2名の講師の方により、心肺蘇生法、AEDの使用方法を学びました。研修会の前半では、1人1体ずつの人形を使い、胸骨圧迫と人工呼吸の正しい行い方を丁寧に指導いただきました。歌のリズムに合わせて30回、単三電池1本分の深さで圧迫するという大変わかりやすい説明もあり、いざという時でも落ち着いて対処できるのではないかと思います。また、研修の後半では、班に分かれて傷病者の発見から胸骨圧迫、傷病者の意識の有無や置かれている状況に応じ、AEDの使用などを臨機応変にそれぞれの役割を見つけて行動するといった実践形式で行われました。はじめのうちは何をしたら良いのかわからず、まごついてしまう場面も見受けられましたが、次第にお互いに声を掛け合い、何をすべきかということをしつかりと身に付けられたと思います。事故や病気の災害など、いつ命の危機に直面するかわかりません。



現在の救急車の到着時間は、約9・4分だそうです。この時間に何らかの手当てをすることが重要です。1人でも多くの大切な命が助かるために、多くの方々に心肺蘇生法やAEDに関心を持っていただける様、私たち日赤奉仕団からも積極的に発信して行けたらと思います。

白須下区地域交流会

「ゲーム大会開催」

白須下 区長 新河 優二

昨年度より子供神輿が復活しさらにふれあい緑日も復活なるかと思いきやコロナ禍の間に組織も様変わりし担い手不足が否めない状況でした。そんな時、白須下区保健福祉推進員さんより、「はつらつシルバーの集い」にて多世代の方たちと交流会をしたいという話を聞き、是非、区からも地域委員会・公民館事業を兼ねて実施していただけないか。ということでビンゴ、輪投げ、ストラックアウトの3ゲームを通じ交流会を行うことになりました。ビンゴでは数字を読み上げるたびに「あったー!」「おしい!」などの声があちらこちらで聞こえ、輪投げやストラックアウトでは、ノビノビと体を動かして楽しむことができました。



白州白須団地会「ほっとふるさと推進事業」活動について

白州白須団地会 会長 笠谷 太之

2024年8月17日 白須団地炊き出し訓練
地震災害によりインフラが機能不全になったと想定し訓練を行いました。当日はお天気も危ぶまれたため皆でブルーシートで屋根を設置したり、各自椅子などを持ち寄り会場を設置しました。



その屋根の下で、火を起こし、持ち寄った野菜や狩猟をしている方から提供していただいたジビエを焼いたり、ポータブル電源で炊飯を行い、レトルト食品を提供したりと、皆のお腹が満足できる内容でした。

また、コロナ禍で希薄になってしまっていた団地会のコミュニケーションの場を設けることができ、災害時に大切な助け合いの精神も充実させることができました。

2024年11月3日 団地内西側公園内花植え

快晴の秋晴れの中、団地の環境美化活動の一環として、西側の公園に花を植えました。団地会方々で地面を耕し、マルチを張り、一植え一植え約300鉢の色とりどりのパンジーを植えました。

作業後はきれいに並んだお花を眺めながら、お茶とお菓子で労をねぎらいました。すぐ横の市道からも、景観の良い公園を見ることができるようになりました。



令和6年度 白州地域委員会事業一覧

事業名		事業内容
北杜市甲斐駒の里名水まつり		白州地区の産業経済文化観光の実態を広く周知し、地域に密着した北杜市のイベントの一つとしてより一層発展することを基本理念に、また市民が直接参加するまつりとして地域社会の連携とコミュニティづくりをより強固にした祭りの開催。
地域ボランティア育成推進事業		高齢者への食事サービスを実施(年6回)
子ども見守り事業		パトロールボランティアを町全域から募り、各自の出来る時間帯で通学路や地域のパトロール、子供たちへの見守り、挨拶、声掛けを行い、子供たちの安全、安心の確保と地域の防犯力向上を目指した活動の実施。
伝統文化 伝承経費	白州地区神楽保存会	神楽芸能の向上と伝承・神楽衣装の備品管理と保全・後継者の育成。
	獅子舞・道祖神保存会	県無形民俗文化財の獅子舞・道祖神祭りを開催。
花のまちづくり事業		国道沿いの花壇や公共施設に花苗を植栽し、美しいまちづくりの推進。
神宮川沿い桜並木管理整備事業		桜並木樹木の下草刈り及び肥料散布による樹木維持。
地域づくり推進 事業	台ヶ原宿市事業	台ヶ原宿市を通じて住民と来訪者の交流を深め、地域資源をアピールし、区の地域力を高める。また、北杜市管内の産業・経済・観光文化の発展と地域活性化に結び付けることを目的とする。
特色ある集落活動 支援事業	大武川区民マレットゴルフ大会、納涼祭、 どんど焼き(大武川区)	マレットゴルフ大会により区民の運動不足の解消、納涼祭は区民の親睦、どんど焼きは区民の無病息災祈願を図る。
	区民文化祭事業(上教来石区)	文化祭を開催することにより、区民の交流と文化意識の向上を図る。
	下教来石環境美化の会事業(下教来石区)	三之蔵公園の桜、経来石の保存、区民広場花壇への花苗の植え付けによる区民及び巡行者への癒しの場の提供を図る。
	鳥原夏祭り事業(鳥原区)	夏祭りを通じて、地域住民及び帰省者の方による地域交流を図る。
	区民文化祭事業(荒田区)	区民への防災啓蒙・指導と環境整備を通じて区民全員の親睦を深める。
	松原さくら公園整備事業(松原区)	区民の憩いの場として桜を育てる。
	竹宇区民交流事業(竹宇区)	地域の伝統まつり・防災訓練を機会として区民相互の交流と親睦を促進することで隣保共同の精神を醸成し安心して暮らせる地域づくりを目的とする。
	前沢地区による区民交流事業(前沢区)	地区内による区民の親睦を深め交流を図る。
	環境整備事業・環境美化事業(白須上区)	環境整備事業を通して環境美化・保全の意識高揚と地域コミュニティの育成を図る。
	地域交流事業(白須下区)	地域交流会でゲームなどを通じて住民の交流を深める。
	台ヶ原区春まつり事業(台ヶ原区)	春まつりを開催し住民の親睦を深める。
	花桃の里推進事業・ホテルの生育環境保護 育成事業(花水区)	花水集落を花桃の里として地域住民に働きかけ、環境美化の啓蒙を図る。自然に生息している貴重なホテルを保護するため、自然環境に関心をもち後世に残す活動をする。
	横手地区ふれあい活動事業(横手区)	地域に伝わる文化を伝承し、区民との交流を図る。
地域住民の交流を通じて結束を促進する事 業(大坊区)	高齢化が進み地域住民との交流が減少しがちな中で区が中心となって行う交流会を通じ、親睦を深め、情報を共有し、自助共助への意識向上と区民の結束を図ることを目的とする。	
ほっとふるさと 推進事業	ほっとふるさと推進事業(白須 団地会)	草刈りや花植えを行い景観の維持、親睦を深めることで住民が気持ちよく安全に住める環境を維持構築していく。

令和6年11月1日。北杜市は市制20年を迎えました。その間地域委員会は、地域と行政を結ぶ活動を続けてまいりました。様々な活動の中で感染症や大災害など活動自体がままならないときもありました。それでも委員が一丸となり、真摯に活動しております。

地域委員会の活動は、20年の時を経て大きく変わるうとしています。令和7年度は新しい地域委員会の在り方を検討していく年になります。時代の変化に柔軟に対応しながら、今後とも地域住民の皆様の声を行政に届けてまいります。

編集後記



白州地域委員会名簿

提案事業	コミュニティ・イベント	副会長	広報・防災
〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃
中山眞理子	清水克彦	小林あつ子	宮澤輝夫
小島秋雄	名取初美	渡辺永幹	山田輝夫
山崎君勝	横森江勝	鈴木英次	山田輝夫
名取ます江	原野功三	鈴木英次	山田輝夫
山崎君勝	原野功三	鈴木英次	山田輝夫
山崎君勝	原野功三	鈴木英次	山田輝夫